

(様式3)

福島県家庭教育応援企業等推進活動報告書

企業名	日東粉化工業株式会社 福島工場
実施項目	・令和2年度「地域でつながる家庭教育応援事業」家庭教育応援企業推進活動
具体的な取組状況	
○参加日：2020年9月14日（月） 13：00～15：00	
○講演名：「子どもたちのよりよい成長を願って～自己肯定感をはぐくむ親のかかわり方～」	
講師 福島県学校教育相談員 山本和弘様	
○実施内容	
<p>弊社は福島県教育庁県中教育事務所の「家庭教育応援企業」に登録し社員の家庭教育にも力を注いでおります。しかしながら平日の日中だと業務もあり参加率も低くなってしまおうこととお話したところ今回は出張講習という対応をとって頂きました。誠にありがとうございました。そのおかげで受講者全員が小中学生等の子供をもつほとんどの父親（14名）となり、「自己肯定感を育む親のかかわり」というテーマをもとに講話をお聞きすることになりました。</p> <p>最近では「イクメン」という言葉も広がり父親の育児への積極的な参加も進んできてはいますが、父親母親に関係なく最初の子供の育児・教育は親にとっても初めてのことでありゼロからの経験です。親ならば子供にとって良いことをしてあげたいと思う気持ちはありますが、じゃあ具体的にはどんなことをすればいいのか？良い家庭教育とは何か？「子供とたくさん話すこと？」「躰をしっかりとすること？」「いろんな体験をさせること？」そんなことを考えながら講話の日を迎えました。</p> <p>講話では現在の子供たちの現状と、さまざまな要因が引き起こす一般的な傾向を学びましたが時代とともに年々内容も変わってきていることをあらためて認識しました。少子化、核家族化、共働きが増えてきており子供と接する時間はそれに反比例して減少しています。急速なネット普及やオンライン化により人との直接の接触が減ることにより成長期の子供たちには様々な経験が不足してしまっているそうです。ネットなどのバーチャルな経験より実体験として成功や失敗が子供たちを成長させ「自己肯定感」にも繋がるとのお話でした。</p> <p>子育てに重要なのは「自己肯定感を持たせること」。簡単に言うと自信を持たせることだということです。「明るく前向きで積極的に」。言葉にすると簡単ですが大人でもかなり大変なことで実際、大人でも適応できず社会的に隔離してしまう人もいます。いろいろな関わり方が資料にも書いてありましたが、そのことを子供に教えるためには親自身が自己肯定感をもち子供たちに見本を見せることが大事だと感じました。今日お聞きした話を頭に入れ子育てに努力します。</p>	
	

※具体的な取組内容が分かるように文章及び写真等を挿入し、記載してください。参考資料があれば添付してください。